

道徳

第1学年

1年間の学習内容とねらい

道徳の目標

- ① 基本的な生活習慣を身につけ、充実した学校生活を送れるようにする。
- ② 他人の立場が理解でき、思いやりのある行動がとれる。
- ③ 自分の所属する集団のあり方を十分理解し、自己の役割と責任を自覚するとともに協力し合って集団生活の向上に努める。

【評価の観点】

- ① 生徒が一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展させているかどうか
- ② 道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているかどうか。

【評価の方法】

- ① 観察による方法
生徒たちの自然な姿を観察して記録します。
- ② 面接による方法
直接生徒と話し、その考え方や感じ方を把握します。
- ③ 質問紙などによる方法
あらかじめ作成した質問に対して回答します。
- ④ 作文やノート等による方法
作文やノート類から生徒が日頃考えていることを把握します。
- ⑤ その他
事例研究法や各種問題場面イラスト等を利用します。

月	番号	教材名	ねらい
		<学級道徳時間>①道徳の時間のねらい②道徳の教科書の配布・記名③道徳ファイルの配布・使い方④シート道徳(前や後等)違い教材で)	
	1	ハズとまちぬ	心のこもった言葉には温かい気持をつくる力があることに気づき、変えたい書き方をしたいの情を育てる。
	2	挨拶しますか、しまはるか	さまざまな環境における挨拶の意義を考え、よりよい挨拶ができる態度を養う。
	3	妹が生まれて	生命の尊厳について深く考え、かけがえのない自他の生命を尊重し、よりよき生きようとする心情を育てる。
	4	うわなで泳ぐの？	周りの人たちのうわさや、不確実な情報に振り回らず、情報の信頼性について自分の頭で考え、真実を見つめる判断力を育てる。
	5	あるピエロの物語	真の友情は、相手の人間的な成長と幸せを願い、互いに励まし合い、高め合い、抱き合えないような等身大の相手であることと理解し、相手の人間性を理解し敬愛する気持ちを育てようとする態度を養う。
	6	エルトゥール号の遭難	日本人としての誇りを持って、同じ人間として尊重し合い、世界の平和と人類の発展に貢献する態度を高める。
	7	黒い手袋	成長を願い深い愛情で育てられていることに気づき、父母や祖父母に対する感謝や敬愛の心情を育てる。
	8	高度での出来事	責任ある行動とは自ら考え、判断し、実行することであることに気づき、誠実に生きようとする態度を養う。
	9	自然の恵に感謝して	自然の恵、恵に感謝する心をもち、自然と共存することによって人生より豊かなものにしていくという態度を養う。
	10	トキのいる里をもう一度	身近な自然の大切さに気づき、人間は自然とのつながりを思いだしながら、自然を育み、共に生きようとする心情を育てる。
	11	宇宙で過ごすために 野口悠介	素晴らしい生活習慣を確立し、節度、節制を心がけて、心身の健康の増進を図ろうとする態度を養う。
	12	本の世界へ みんなに届け 村西花子	理想や目標を達成しようとする強い意志の大切さに気づき、より高い次の目標に向かって努力しようという実践態度を高める。
	13	遊鳥を守る	地球上に住む人々には、親王を敬ぶ心や運命意識があることに気づき、その一員として地域に住む人々と共に親王に預めようとする道徳的心情を育てる。
	14	真の国際人 藤村治五郎	世界の中の日本人としての自覚を持ち、国際的視野になって、世界の平和と人類の発展に寄与しようとする態度を養う。
	15	ネット情報	自ら選択したどんな小さな行為にも責任があることを認識し、正しい行動を選択する判断力を育てる。
	16	町内会デビュー	社会の一員としての自覚を持ち、住みよい地域社会の実現を目指そうとする実践態度を高める。
	17	金色の珊瑚	物事がうまくいかないことを他人や仕事のせいにして自分を責め、多くの人々の善意や支えで今の生活があることに感謝し、それに応えようとする心情を育てる。
	18	たとえば仮に明日はなくても	生きることの真実をすばらしい、当に気づき、かけがえのない生命を身かしようという強い生きようとする実践態度を高める。
	19	私も同じだよ	社会生産を担う上で何を必要とする事柄に気づき、自ら責任ある実践した社会の実現に努めようとする態度を養う。
	20	日曜日の朝に	自分の親はさまざまな行動が招く危険や周りにへの迷惑に料して、十分配慮し、節度をわきまえるようとする判断力を育てる。
	21	いつか、生きる 志賀の字次郎	困難や挫折を乗り越え、人間としての誇りを持って、前向きに生きようとする意欲を高める。
	22	公平とは何ぞや	公平な社会をつくるために、物事は是非を超越し、精神的に差別や偏見をなくしようとする態度を養う。
	23	らしきって何だろ	自分らしさを大切にすることは共に、それぞれの個性やその人らしさを尊重し、調和し合おうとする心情を育てる。
	24	ネパールのモデル	人間の尊厳ある生き方や良心の高さに感動し、人間として誇りを持って生きようとする心情を育てる。
	25	伝統を大切に	節度豊かや学級、学校の一員としてお互いに変え合っていることに気づき、教師や学校を敬愛し、協力してよりよい校園をつくらうとする態度を養う。
	26	日本の心と技	日本の伝統文化のよさを多面的・多角的に捉え、多くの人々へ伝えようとする態度を養う。
	27	クラスメイト	異性間においても、同種間と同様に相手のものの見方や考え方を理解し、互いに相手のよさを認め合おうとする態度を養う。

- 特色ある学習方法
- ① 思考力、判断力、表現力を育む学習
 - ② 自己評価を取り入れ、自己の心の成長を実感できるようにする方法
 - ③ 生徒同士の相互評価を取り入れ、多様な価値観を知る方法

1	28	「チロニーの軌跡」	自己を見つめ、自分の個性を大切にしようという心を持って充実した生き方を追求しようとする態度を養う。
	29	認められたドラマ	高い理想を求め、実現しようという志を持ち、自分を正やかに努力を継続しようとする実践意欲を高める。
2	30	揺籃の神格が 教えてくれたこと	「働く徳義」を理解し、働く喜びに気づき、充実した生き方につなげようとする態度を養う。
	31	誓いと永遠	友情の在り方についてさまざまな角度から考えを深め、より一層深い友情を構築しようとする態度を養う。
3	32	年の下	社会の中で学ぶべき正しい道として公德の徳義を理解し、住みよい社会を実現しようとする判断力を育てる。
	33	ロコソラーレ メダルへの挑戦	自分の果たすべき役割を自覚し、目指す目的に向かって、互いに協力し合い、固まらざる集団生活の築削に努めていこうとする態度を養う。
3	34	捨てた・未来	生きていることのすばらしさに気づき、生きとし生けるものの生命を大切にしようとする心構えを育てる。
	35	ゲームから広がる可能性	自由な発想で新しい考えや方法を生み出し、積極的に新しい分野を切り開こうと探究し、創造しようとする心構えを育てる。

道徳

第2学年

1年間の学習内容とねらい

道徳の目標

- ① 具体的な目標をもち、振りのある学校生活を送れるようにする。
- ② 共に語り、共感し、励まし合い高め合うことのできる友情を育てる。
- ③ 不正を憎み、不正な言動を断固として否定することにより、差別や偏見のない社会の実現に尽くすように努める。
- ④ 集団生活の向上に努める。

【評価の観点】

- ① 生徒が一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展させているかどうか
- ② 道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で探めているかどうか。

【評価の方法】

- ① 観察による方法
生徒たちの自然な姿を観察して記録します。
- ② 面接による方法
直接生徒と話し、その考え方や感じ方を把握します。
- ③ 質問紙などによる方法
あらかじめ作成した質問に対して回答します。
- ④ 作文やノート等による方法
作文やノート類から生徒が日頃考えていることを把握します。
- ⑤ その他
事例研究法や各種問題場面ノート等を利用します。

月	番号	教材名	ねらい
		<学習道徳時間き>①道徳の時間のねらい②道徳の教科書の配布・記名③道徳フイルムの配布・使い方④シート道徳（計や体験等短い教材で）	
4	1	馬のように愛用しない 高梨沙羅	社会生活のなかで、それと異なる価値観を持つ人に出会ったとき、どう感じるか。
	2	旗	他人の立場を尊重しながら適切に、いざわりあます自分のすばらしさを表現し、互いに他を思いやる心構えを育てる。
	3	こみ収束場所をどこに	法やまじりの意識を抑制し、法やまじりに積極的に関わり、それらを積極的に守ろうとする判断力を育てる。
	4	ソムリエの実験	誰に對して公正・公平に接することの大切さについての自覚を高め、差別や偏見のない社会の実現に努めようとする心構えを育てる。
	5	コズメタビ田	自然の恵みを知り、自然環境を大切にすることの意識を抑制し、地球環境の保護に努めようとする実践意欲を高める。
	6	父との約束	自分の行為や行動が周囲にどのような影響を与えるのか理解し、自らを律して責任ある行動をとろうとする実践意欲を高める。
	7	サキとカク	個人や集団を乗り越え、相手に対する理解を深めようとする。相手を受け入れ、幸せを創ろうとする心構えを育てる。
	8	ヨスガノヒメ・パーカー	自分が住む地域社会への認識を深め、その発展に貢献しようとする実践意欲を高める。
6	9	取り返け方本一丸 (ユニーク・未来に向けて)	自分の考えや感じ方がすべてではなく、物事にいろいろな立場や意見があることに気付かせ、謙虚な心を持ち、思いのたけに気づき、前向きに生きていこうとする心構えを育てる。
	10	ゾウガキとゾウガキ (ユニーク・未来に向けて)	自分を見つめ、現状に甘んじることなく、向上心をもち、自分自身が納得できる人生を送ろうとする態度を養う。
	11	初めてのアルバイト	自分の意識を抑制し、勤労を通して社会がいのある人生を実現しようとする実践意欲を高める。
	12	そこにいるだけがいい	生きること、生きていくことの意味について考え、自他の生命を尊重しようとする心構えを育てる。
	13	キャッパール	法やまじりの意識を抑制し、それらを遠くでやると共に、社会の中で守るべき正しい道としての公理の心を大切にしようとする心構えを育てる。
	14	完璧な人になりたい (ユニーク・未来に向けて)	完璧の考えを抑制し、自分から納得できる友達を作ろう。多様な他人の在り方についての個人や集団の理解しながら、人間性と個性に気づき、自分自身を育てようとする態度を養う。
9	15	ものごころ (ユニーク・他と対峙に)	ものごころに買われた人々の探求心を支えたものについて考えることで、エスとしてよりよいものを創出していこうとする態度を養う。
	16	共に生きる (ユニーク・他と対峙に)	他人の心や考えを尊重し、人間の存在や価値について理解を深め、よりよい社会が形作られるよう、人類の発展に貢献しようとする実践意欲を高める。
	17	三人の誓い 大山裕俊	よりよい目標の達成を目指し、希望や夢を共有し、前向きな考え方で、自分自身が理想を達成しようとする実践意欲を高める。
	18	ゾウガキとゾウガキ 5人目の黒い帽子	生命の尊厳について深く考え、かけがえのない自他の生命を尊重し、よりよく生きていこうとする心構えを育てる。
10	19	ヒト・リス細胞を求めて 山中伸弥	科学の進歩に、疑問や問いを深掘りし続けることが、新たな発見や考え方の発見や創造につながることに関心し、それを自分の生活に活かそうとする実践意欲を高める。
	20	ついでい過ぎて	他者との関わりの中で具体的な物事について話し合うことにより、自分と異なる他者の立場や考え方を尊重しようとする態度を養う。
	21	美しい母の顔	かけがえのない存在として家族の深い愛情によって育てられていることに感謝し、充実した家庭生活を送ろうとする心構えを育てる。
	22	絶やしてはならない 結方典隆	自他の生命を尊重し、生き方について考えることを通じて、かけがえのない生命を尊重しようとする心構えを育てる。
	23	舟のチーフスライ	緊張感を持って、自分のまま自分に向かっていくことからはじめること、高い目標に向けて挑戦し、自分自身が成長できることに気づき、自分自身を成長させる集団をつついでいこうとする実践意欲を高める。
	24	足跡の季節	人間には自らの習性や価値観を表現しようとする強みがあることに気付かせ、自分には強みを持ち、人間として気取く生きていこうとする心構えを育てる。
	25	五色桜	個人や集団が育った人、地域社会に尊敬の念を深め、地域社会の一員としての自覚を持って敬意を払い、進んで個人や集団の発展に貢献しようとする心構えを育てる。
12	26	未来に響け“質問紙未来”	学校や学校の一員としての自覚を深め、協力し合っており、よりよい環境づくりをしていこうとする態度を養う。
	27	お通夜のこと	心とつながることが人間の基本であることを理解し、その場に合わせた適切な行動ができる判断力を育てる。

特色ある学習方法

①思考力、判断力、表現力を育む学習

②自己評価を取り入れ、自己の心の成長を実感できるようにする方法

③生徒同士の相互評価を取り入れ、多様な価値観を知る方法

28	黒蜘蛛の元次	登場人物の生き方を比較する学習を通して、自ら規律を創して行動することのよさを認識し、自決した生活を選択しようとする判断力を育てる。
	29	備い
30	金剛再建 黄金天井に描む	我が国の伝統文化のすばらしさを理解し、後世に受け継いでいくためにできることを考え、継承しようとする実践意欲を高める。
	31	リノコが物えてくれたこと (ユニット・持論可能な世界のため)
32	誰かなるもの (ユニット・持論可能な世界のため)	自然と人間との関わりについて考えを深め、美しいものや素晴らしいものに感謝することで人生をより豊かなものにしていくこととする態度を養う。
	33	Onihimeがつなぐ世界 (ユニット・持論可能な世界のため)
34	私は大丈夫 ～そんな気持ちはないですか	日々の生活における事故、犯罪や自然災害による危害を受けたくない安全や危機管理に配慮し、知識を守り予防に心がけ、心身の調和のある生活の実現に向けて取り組む態度を養う。
	35	備前

道徳

第3学年

1年間の学習内容とねらい

道徳の目標

- ①学校のリーダーであるという自覚をもち、悔しいない学校生活を送れるようにする。
- ②法や決まりの意義を理解し、遵守するとともに自他の権利を重んじ、義務を確実に果たすように努める。
- ③理想を求め、目標を持って着実に努力する。

【評価の観点】

- ①生徒が一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展させているかどうか
- ②道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているかどうか。

【評価の方法】

- ①観察による方法
生徒たちの自然な姿を観察して記録します。
- ②面接による方法
直接生徒と話し、その考え方や感じ方を把握します。
- ③質問紙などによる方法
あらかじめ作成した質問に対して回答します。
- ④作文やノート等による方法
作文やノート類から生徒が日頃考えていることを把握します。
- ⑤その他
事例研究法や各種問題場面イラスト等を利用します。

月番号	教材名	ねらい
<学級道徳開き>①道徳の教科書の配布・記名②道徳フレームの配布・使い方③ノート道徳（詩や短歌等）教材で)		
1	OOチザワルヲク	急速に変化している現代社会において、スマートフォンやSNSのつきあい方にはさまざまな方法があることに気づき、身体的・精神的・社会的・調和のある生活を送ろうとする態度を高める。
2	思い出のオムライス	正しい判断を選択し行動することに価値があることを理解し、良心的な生き方を選択しようとする判断力を育てる。
3	百年たったち	生活していく中で何が不正なのかに気づき、不正は許さないという断固とした姿勢を持つ。その上で積極的・差別や偏見をなくす心情を育てる。
4	余命ゼロ 命のマイゼージ	かけがえのない自他の生命の大切さを自覚し、前向きに生きていこうとする心情を育てる。
5	アノロード・ザノロード	二つの話の気になる長を基に、他者の権利を守るなどについて考えることを通して、自他の生活の権利を大切に、自分の義務を果たすことで、互いの自由意思が尊重されることに気づき、社会の秩序と規律を自ら高めていこうとする実践意欲を高める。
6	赤道下にはむすぶクワテコリヲ	人間は、偉大な自然の中で生かされていることに気づき、人間と自然の関わりを多面的・多角的に捉え、自然を愛し、守り、共生しながら環境を保全しようとする態度を養う。
7	町工場から宇宙へ	困難に負けずに、自由な発想と想像力で新しいものを創造しようとする心情を育てる。
8	世界一厄介な問題	現代的な課題を手がかりに、積極的に社会に関わることに意識に気づき、よい社会の実現を理想とよとする心情を育てる。
9	二人の弟子	自分自身を見つめ、もう一度やり直そうとする道徳、自分自身に引き合えず、自分の持つ強さや弱さに気づかなかった習行に悔意をもつことを通して、自分の弱さや強さに向き合い、それを克服する強さや気力（生きまよとする心がある）に気づき、人間としてよく生きていこうとする態度を養う。
10	私たちの夏	異性間においても、相手にする理解を深め、信頼と敬愛の念を育み、互いに高め合える関係を築こうとする態度を養う。
11	箱	自分と異なる考えや立場を受け止め、相手の多様な見方、考え方から学びながら、自分に生かし、他者に問題解決していくとする判断力を育てる。
12	ねがいを夢見て	弟子さんのふたや重出に対する思いや、ねがいの持つ意味に気づくことを通して、親土の伝統や文化を大切に、地域社会の一員としての自覚を持って親土を愛し、進んで親土の発展に努めようとする心情を育てる。
13	独りを読む	作者の気持ちや考えを知ると共に、自分の生活を振り返ることを通じて、読者を守り前向きに心がけることは、気力に活かしに落ちあふれた表現と人生を築く上で次にどのべきかというものであることに気づき、望ましい生活習慣を身につけるための実践意欲を高める。
14	一冊のノート	家族との関わりや、家族の在り方について考えを深め、家族の一員としての自覚を持って家族と交流し、家族生活に意欲をもちようとする心情を育てる。
15	電車の中で	思いやりのある行動を知るその心の動きを考え、相手の立場に立つて温かい気持ちでいこうとする心情を育てる。
16	もくどわかめいはい	国際的な視野に立ち、他国を尊重し、違いを理解し、上で、世界の平和と人類の発展に貢献するために自分自身に何ができるのかを考えようとする心情を育てる。
17	海難船を救える	自分発着的に捉え、自分の優れている面を伸ばそうとする個人の生き方に気づくことを通じて、自己を認め、自己の向上を認めると共に、個性を伸ばして充実した生き方を追求する態度を養う。
18	親長を愛したる君 上杉藤山	自律した行動には責任が伴うことを理解し、私利私欲を交えることと欲求に生きまよとする態度を養う。
19	二匹の手紙	法やきまりの意義を理解し、自らの義務を果たすことで、よい社会をつくらうとする態度を養う。
20	おぼろげないご徳走	生きまよしけるものの生命の尊厳に気づき、生命は他の生命にとって生かされていることに感謝しようとする心情を育てる。
21	未来の日本へデビュー	選挙に参加することを通して、自分の意思を社会に反映させ、よい社会の実現に向けて自ら実践することと考えるようとする判断力を育てる。
22	どしどし?	それぞれの個性や立場を尊重し、互いのよさを認め謙遜に学び合い、高め合おうとする態度を養う。
23	リリホノタマシリの青	自然の美しさや神秘、気候などに惹かれ、感動がたりする心を持ち、人間の力を捉えたものへの畏敬の念を深めようとする心情を育てる。
24	二人はアガリ	互いに相手のよさを認め、共に生き合い、助け合い、高め合いながら友情を育てようとする態度を養う。
25	卒業文集展覧の二行	正義と公正を重んじ、自分の弱さを認めつつも、誰に對しても公平に扱い、差別や偏見のない社会の実現を願い心情を育てる。
26	白川湖に遊ばれて	伝統を継承するために必要の心持ちについて考え、自分たちが住む国や地域の伝統を守り続けたいという心情を育てる。
27	正義は日本地図の道筋 伊能忠雄	真実を求め、真実を認めたい人の生き方を支えたものについて考え、それを自分の生き方に生かそうとする実践意欲を高める。

- 特色ある学習方法
- ① 思考力、判断力、表現力を育む学習
 - ② 自己評価を取り入れ、自己の心の成長を実感できるようにする方法
 - ③ 生徒同士の相互評価を取り入れ、多様な価値観を知る方法

28	礼儀って	礼儀の意義を理解し、その場に応じた礼儀について話し合い、深め、状況に応じた礼儀を考えられる判断力を育てる。
1	29 優かの決意	科学技術や医療の進歩の中、生命倫理に関する課題を手がかりに生命の尊厳について考えさせ、自他の生命を尊重する態度を養う。
	30 雪が降ると思いつくことがある	集団の一員としての自覚を持ち、さまざまな集団の意義や集団の中での自分の役割と責任を自覚して、集団生活の充実に関与しようとする態度を養う。
	31 五年生と太郎	思いやり心の規範には他者への深い理解と共感があることに気付き、他者を真に思いやる人間愛の心根を育てる。
2	32 スポーツの力	強い意志の力で自分の弱みに打ち勝ち、困難を乗り越えようとする実践意欲を高める。
	33 い	勤労の意義を理解し、働くことを通じて社会に貢献でき、それが自他の喜びにつながることを自覚し、自らも実践しようとする意欲を高める。
	34 杉原千景の選択	人間の存在や価値についての理解を深め、世界平和に貢献する行動を自ら取るための判断力を育てる。
3	35 亡き母へのラブレター	生きていく上でつらいことや苦しいことから逃げず、それを克服する力があることを信じ、人間としての誇りや喜びを持って力強く生きていくこととする実践意欲を高める。